

受験番号

数 学 (3枚のうちの1枚目)

【解答記入上の注意】

- ・ $\boxed{1}$ は答えのみでよい。それ以外は途中の式や文章も記入すること。
- ・ 問題にかいてある図は必ずしも正しくはない。

1 次の \square 内に適する数を記入せよ。

(1) $(2\sqrt{2}-3)^2$ を計算すると、 \square となる。

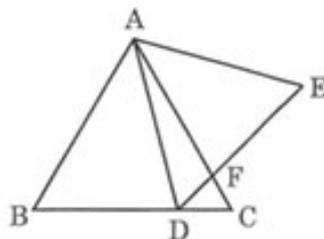
また、 $\sqrt{\sqrt{(10-7\sqrt{2})^2}-\sqrt{(7-5\sqrt{2})^2}}$ を計算すると、 \square となる。

(2) 箱の中に、数字1が書かれたカードが1枚、数字2が書かれたカードが2枚、数字3が書かれたカードが3枚、数字4が書かれたカードが4枚、合計10枚のカードがある。この箱からAさんはカードを1枚引き、カードに書かれた数字を a とする。そのカードを箱に戻さず続けてBさんはカードを1枚引き、カードに書かれた数字を b とする。このとき、 $a > b$ となる確率は \square である。

(3) a, b を0でない定数、 c, p, q を定数とする。

x の方程式 $ax^2 + cx + b = 0$ の解が $x = 5, p$ であり、 x の方程式 $bx^2 + cx + a = 0$ の解が $x = 3, q$ であるとき、 $p + q = \square$ である。

(4) 右の図で、 $\triangle ABC$ と $\triangle ADE$ は正三角形である。点Dは辺BC上にあり、 $BD > CD$ である。点Fは辺ACと辺DEの交点である。 $\triangle ADE$ の面積が $\triangle ABC$ の面積の $\frac{5}{6}$ 倍であるとき、 $\triangle FDC$ の面積は $\triangle AFE$ の面積の \square 倍である。



2 次の問いに答えよ。

(1) a, b, c はいずれも 1 以上 5 以下の整数である。 a, b, c を 3 辺の長さとする、正三角形でない二等辺三角形がかけられるような、 a, b, c の組は全部で何組あるか。

(2) 1 の目がかかれた面が 2 つ、2, 3, 4, 5 の目がかかれた面が 1 つずつあるサイコロがある。このサイコロを 3 回振り、出た目を順に x, y, z とする。 x, y, z を 3 辺の長さとする、正三角形でない二等辺三角形がかける確率を求めよ。

受験番号

令和3年度 灘高等学校 入学試験問題

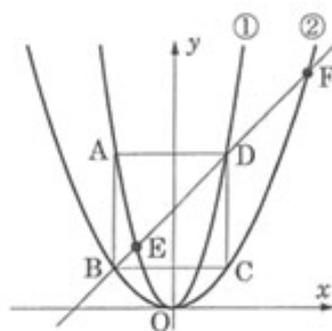
数 学 (3枚のうちの2枚目)

3 a, b は等式 $ab^2 + (3a + 4)b + 2a + 6 = 0$ ……① を満たしている。

(1) $p = 2ab + 3a + 4$ とする。 p^2 を a のみを用いて表せ。

(2) a, b はどちらも、0 でない整数とする。等式①を満たす a, b の値を求めよ。

4 α を正の定数, t を 2 より大きい定数とする。右の図のように, x 座標が $-t$ の 2 点 A, B と, x 座標が t の 2 点 C, D があり, 四角形 ABCD は正方形である。関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ①は 2 点 A, D を通り, 関数 $y = \alpha x^2$ のグラフ②は 2 点 B, C を通る。直線 BD とグラフ①の D 以外の交点を E とおき, 直線 BD とグラフ②の B 以外の交点を F とおく。



(1) α を t を用いて表せ。

(2) 点 E の x 座標を t を用いて表せ。

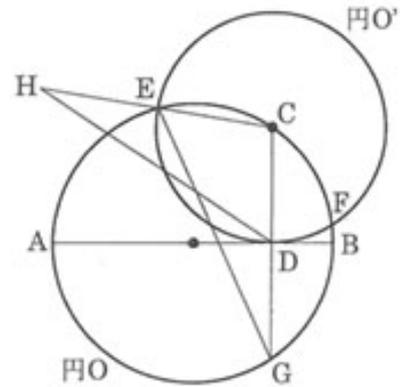
(3) 原点を O とする。 $\triangle OBF$ の面積が $\triangle OED$ の面積の 2 倍であるとき, t の値を求めよ。

受験番号

令和3年度 灘高等学校 入学試験問題

数 学 (3枚のうちの3枚目)

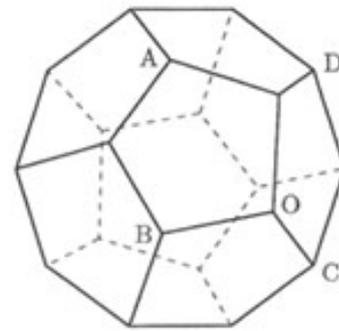
5 右の図のように、線分 AB を直径とする円 O 上に点 C をとる。点 C を中心とし、線分 AB に接する円 O' をかく。さらに、円 O' と線分 AB の接点を D とおき、2円 O, O' の交点を右の図のように E, F とおく。直線 CD と円 O の C 以外の交点を G とおき、点 E が線分 CH の中点となるように点 H をとる。



(1) $\angle CHD = \angle CGE$ を証明せよ。

(2) 2直線 CG, EF の交点を M とおくと、 M は線分 CD の中点であることを証明せよ。

〔6〕 右の図は、1辺の長さが2の正十二面体で、O、A、B、C、Dはその頂点である。4点A、B、C、Dは同一平面上にあり、この平面をPとおく。次の問いに答えよ。なお、線分ABの長さが $1 + \sqrt{5}$ であることは証明なしに用いてよい。



(1) 点Oと平面Pの距離は1であることを証明せよ。

(2) この正十二面体を平面Pで2つの立体に切り分けたとき、点Oを含む方の立体の体積を求めよ。

灘 高校 解答

1 (1) $17 - 12\sqrt{2}$, $3 - 2\sqrt{2}$ (2) $\frac{7}{18}$ (3) $\frac{8}{15}$ (4) $\frac{2 - \sqrt{2}}{5}$

2 (1) 42 組 (2) $\frac{1}{4}$

3 (1) $p^2 = a^2 + 16$ (2) $a = 3$, $b = -3$

4 (1) $a = \frac{1}{2} - \frac{2}{t}$ (2) $-t + 2$ (3) $t = \frac{7 + \sqrt{17}}{2}$

5 (1) $\triangle CHD$ と $\triangle CGE$ において,

$$\begin{cases} CD = CE \\ \angle HCD = \angle GCE \\ CH = CG \end{cases}$$

2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから, $\triangle CHD \equiv \triangle CGE$
よって, $\angle CHD = \angle CGE$ (略証)

(2) $\begin{cases} \text{上の(1)の結果} \\ \angle CFE = \angle CGE \\ \angle CEF = \angle CFE \end{cases}$

$\angle CEM = \angle CEF = \angle CHD$ となって, 同位角が等しいから, $EM \parallel HD$
また, E は CH の中点
よって, 中点連結定理より, M は CD の中点 (略証)

6 (1) 略

(2) $\frac{7}{3} + \sqrt{5}$